

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	49,130	38,664
コールローン	30,000	30,000
有価証券	144,241	157,051
有形固定資産	1,353	1,292
無形固定資産	17,578	17,578
その他資産	21,856	19,738
繰延税金資産	15,606	15,753
資産の部合計	279,766	280,078
負債の部		
保険契約準備金	216,784	223,990
支払備金	44,812	46,706
責任準備金	171,972	177,284
その他負債	17,282	16,000
退職給付引当金	2,364	2,382
賞与引当金	1,263	639
役員賞与引当金	3	5
特別法上の準備金	327	335
価格変動準備金	327	335
負債の部合計	238,026	243,353
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	3,389	3,389
利益剰余金	18,069	13,094
株主資本合計	41,458	36,484
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	282	239
評価・換算差額等合計	282	239
純資産の部合計	41,740	36,724
負債及び純資産の部合計	279,766	280,078

四半期損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
経常収益	35,755	37,372
保険引受収益	35,414	37,055
(うち正味収入保険料)	35,395	37,033
(うち積立保険料等運用益)	19	22
資産運用収益	299	310
(うち利息及び配当金収入)	319	332
(うち積立保険料等運用益振替)	△ 19	△ 22
その他経常収益	40	6
経常費用	32,023	35,330
保険引受費用	24,016	26,913
(うち正味支払保険金)	13,961	16,605
(うち損害調査費)	2,446	2,508
(うち諸手数料及び集金費)	573	593
(うち支払備金繰入額)	322	1,893
(うち責任準備金繰入額)	6,711	5,311
営業費及び一般管理費	8,004	8,413
その他経常費用	3	2
経常利益	3,731	2,042
特別利益	—	—
特別損失	7	8
固定資産処分損	—	0
特別法上の準備金繰入額	7	7
価格変動準備金繰入額	7	7
税引前四半期純利益	3,724	2,034
法人税及び住民税	1,291	721
法人税等調整額	△ 241	△ 130
法人税等合計	1,050	590
四半期純利益	2,674	1,443

損益状況の対前期比較

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	比較増減	増減率
元受正味保険料(含む収入積立保険料)		35,806	37,702	1,895	5.3 %
(元受正味保険料)		(35,806)	(37,702)	(1,895)	(5.3)
経常損益	保険引受収益	35,414	37,055	1,641	4.6
	(うち正味収入保険料)	(35,395)	(37,033)	(1,637)	(4.6)
	保険引受費用	24,016	26,913	2,897	12.1
	(うち正味支払保険金)	(13,961)	(16,605)	(2,643)	(18.9)
	(うち損害調査費)	(2,446)	(2,508)	(62)	(2.6)
	(うち諸手数料及び集金費)	(573)	(593)	(19)	(3.4)
	資産運用収益	299	310	10	3.5
	(うち利息及び配当金収入)	(319)	(332)	(13)	(4.3)
	資産運用費用	-	-	-	-
	営業費及び一般管理費	8,004	8,413	409	5.1
(保険引受に係る営業費及び一般管理費)	(7,981)	(8,390)	(408)	(5.1)	
その他経常損益		37	3	△ 33	△ 89.8
経常利益		3,731	2,042	△ 1,689	△ 45.3
(保険引受利益)		(3,416)	(1,751)	(△ 1,665)	(△ 48.7)
特別損益	特別利益	-	-	-	-
	特別損失	7	8	0	7.6
	特別損益	△ 7	△ 8	△ 0	-
税引前四半期純利益		3,724	2,034	△ 1,690	△ 45.4
法人税及び住民税		1,291	721	△ 570	△ 44.2
法人税等調整額		△ 241	△ 130	110	-
法人税等合計		1,050	590	△ 459	△ 43.8
四半期純利益		2,674	1,443	△ 1,230	△ 46.0
諸比率	正味損害率	46.4%	51.6%	/	/
	正味事業費率	24.2%	24.3%	/	/
修正経常利益		6,034	3,606	△ 2,428	△ 40.2
E. I. 損害率		53.5%	62.7%	/	/

(注) 1. 保険引受利益 = 保険引受収益 - (保険引受費用 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ± その他収支
 なお、その他収支は自動車損害賠償責任保険等に係る法人税相当額などであります。

2. 正味損害率 = (正味支払保険金 + 損害調査費) ÷ 正味収入保険料 × 100

3. 正味事業費率 = (諸手数料及び集金費 + 保険引受に係る営業費及び一般管理費) ÷ 正味収入保険料 × 100

4. 修正経常利益 = 経常利益 + 異常危険準備金繰入額※

※異常危険準備金戻入の場合は、「異常危険準備金繰入額」はマイナスとなります。

5. E. I. 損害率 = (正味支払保険金 + 支払備金繰入額 + 損害調査費) ÷ 既経過保険料 × 100

なお、地震保険および自動車損害賠償責任保険を除いております。

種目別保険料・保険金

元受正味保険料

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		1,691	4.7	77.6	2,113	5.6	25.0
海 上		—	—	—	—	—	—
傷 害		2,283	6.4	2.7	2,332	6.2	2.1
自 動 車		31,831	88.9	7.0	33,256	88.2	4.5
自動車損害賠償責任		—	—	—	—	—	—
合 計		35,806	100.0	8.7	37,702	100.0	5.3

正味収入保険料

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		
		金 額	構成比	増減率	金 額	構成比	増減率
火 災		955	2.7	75.7	1,189	3.2	24.5
海 上		—	—	△ 100.0	0	0.0	—
傷 害		2,356	6.7	2.7	2,394	6.5	1.6
自 動 車		31,752	89.7	7.0	33,167	89.6	4.5
自動車損害賠償責任		331	0.9	△ 10.2	281	0.8	△ 15.1
合 計		35,395	100.0	7.7	37,033	100.0	4.6

正味支払保険金

(単位：百万円)

種 目	期 別	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)			当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)		
		金 額	増減率	正 味 損害率	金 額	増減率	正 味 損害率
火 災		119	527.2	18.7	208	74.7	24.1
海 上		—	△ 100.0	—	0	—	5.1
傷 害		801	△ 0.4	37.8	975	21.7	45.8
自 動 車		12,730	9.8	47.3	15,102	18.6	52.5
自動車損害賠償責任		311	△ 5.1	94.0	319	2.7	113.7
合 計		13,961	9.5	46.4	16,605	18.9	51.6

単体ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
(A) 単体ソルベンシー・マージン総額	76,402	79,929
資本金又は基金等	35,040	36,484
価格変動準備金	327	335
危険準備金	148	151
異常危険準備金	38,076	39,639
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	352	299
土地の含み損益	—	—
払戻積立金超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
払戻積立金超過額及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	—	—
控除項目	—	—
その他	2,457	3,018
(B) 単体リスクの合計額 $\sqrt{(R_1+R_2)^2+(R_3+R_4)^2+R_5+R_6}$	18,787	19,282
一般保険リスク (R ₁)	15,739	16,004
第三分野保険の保険リスク (R ₂)	0	0
予定利率リスク (R ₃)	151	153
資産運用リスク (R ₄)	1,958	2,103
経営管理リスク (R ₅)	407	419
巨大災害リスク (R ₆)	2,500	2,700
(C) 単体ソルベンシー・マージン比率 [(A)/{(B)×1/2}]×100	813.3 %	829.0 %

注. 「単体ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条（単体ソルベンシー・マージン）および第87条（単体リスク）ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出された比率です。

なお、当第1四半期会計期間(2022年6月30日)の単体ソルベンシー・マージン比率は、巨大災害リスクの基礎数値の一部を前事業年度(2022年3月31日)と同値とみなすなど、計算の一部を簡便化して算出しております。

<単体ソルベンシー・マージン比率>

・損害保険会社は、保険事故発生の際の保険金支払や積立保険の満期返戻金支払等に備えて準備金を積み立てておりますが、巨大災害の発生や、損害保険会社が保有する資産の大幅な価格下落等、通常の前測を超える危険が発生した場合でも、十分な支払能力を保持しておく必要があります。

・こうした「通常の前測を超える危険」を示す「単体リスクの合計額」（上表の(B)）に対する「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（すなわち単体ソルベンシー・マージン総額：上表の(A)）の割合を示す指標として、保険業法等に基づき計算されたものが、「単体ソルベンシー・マージン比率」（上表の(C)）であります。

・「通常の前測を超える危険」とは、次に示す各種の危険の総額をいいます。

- | | |
|--|---|
| ①保険引受上の危険
(一般保険リスク)
(第三分野保険の保険リスク) | : 保険事故の発生率等が通常の前測を超えることにより発生し得る危険（巨大災害に係る危険を除く） |
| ②予定利率上の危険
(予定利率リスク) | : 実際の運用利回りが保険料算出時に予定した利回りを下回ることにより発生し得る危険 |
| ③資産運用上の危険
(資産運用リスク) | : 保有する有価証券等の資産の価格が通常の前測を超えて変動することにより発生し得る危険等 |
| ④経営管理上の危険
(経営管理リスク) | : 業務の運営上通常の前測を超えて発生し得る危険で上記①～③及び⑤以外のもの |
| ⑤巨大災害に係る危険
(巨大災害リスク) | : 通常の前測を超える巨大災害（関東大震災や伊勢湾台風相当）により発生し得る危険 |

・「損害保険会社が保有している資本金・準備金等の支払余力」（単体ソルベンシー・マージン総額）とは、損害保険会社の純資産（社外流出予定額等を除く）、諸準備金（価格変動準備金・異常危険準備金等）、土地の含み益の一部等の総額であります。

・単体ソルベンシー・マージン比率は、行政当局が保険会社を監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。